

平成22年6月25日

各位

東ト協ロジ研「バスーラ」上映会

～安心を未来へ～

社団法人東京都トラック協会ロジスティクス研究会

私どもロジスティクス研究会は、平成22年度は年間活動テーマを「安心を未来へ」として各種の研修活動等事業を進めてまいりますが、その第一弾として上映会を開催することといたしました。

この映画のSTORYは、「戦争という現実を自らの目で見てみよう」と決意して世界を放浪した四ノ宮浩が最後にたどりついたのは、自らの作品の原点フィリピン・マニラだった。売春を行い薬物にまみれた生活を送る子供、ゴミ拾いを仕事として暮らす人々……。以前と変わらぬ貧しい人々の光景に愕然とした四ノ宮浩は、処女作『忘れられた子供たち スカベンジャー』を通して出会った登場人物たちをひとりひとり訪ねる旅に出た。というものです。

フィリピンのマニラ近郊の巨大なゴミ捨て場の街「スモーキーマウンテン」には、40年以上にわたりゴミを拾って転売することを生業とする2万人以上の人々が暮らしていた。しかし、世界から貧困の象徴として注目されたことに耐えかねた政府は、1995年に街を突如閉鎖。生活の場を奪われた人々に対し仮設住宅が用意されたが住人の9割は仕事が見つからず、現在もそのほとんどが近隣にできた新しいゴミ捨て場で以前と変わらぬゴミ拾い生活を続けている。

監督；四ノ宮浩（しのみやひろし）氏
1958年、宮城県出身。89年に訪れたフィリピンのゴミ捨て場の街「スモーキーマウンテン」の現状とそこで暮らす子供たちの純粋さに衝撃を受け、以後20年にわたりゴミ捨て場を舞台とした映画制作を続ける。過去作品に『忘れられた子供たち スカベンジャー』（1995年マンハイム国際映画祭ベストドキュメンタリー賞受賞・1996年地球環境映像祭社会環境映像賞受賞ほか多数受賞）、『神の子たち』（2002年シネマアンビエンテ国際環境映画祭グランプリ受賞・2002年ベルリン国際映画祭正式招待）がある。

ロジ研では、貧困と飢餓と戦争はなくなるのか。わたしたちはここに登場する人たちと、決して無関係ではないし、無視して通り過ぎることはできない。アジアの深い繋がりのなかで生きていることを考えたいと思います。

なお、本上映会では、チャリティも行い、寄付金はバスーラ基金に寄贈する予定です。つきましては、下記のとおり開催いたしますので、会員・社員・ご家族等お誘いのうえ、お出でくださいますようお願いいたします。（「バスーラ」とはタガログ語で「ゴミ」を表します。）

記

- 日時 平成22年7月13日（火）
開会 15:00（受付開始 14:30）
上映 15:05 ～ 16:48
監督トーク&ディスカッション 16:50 ～ 17:30
（終了後17:45より 4階会議室で交流会：軽食と飲物 会費1,000円）

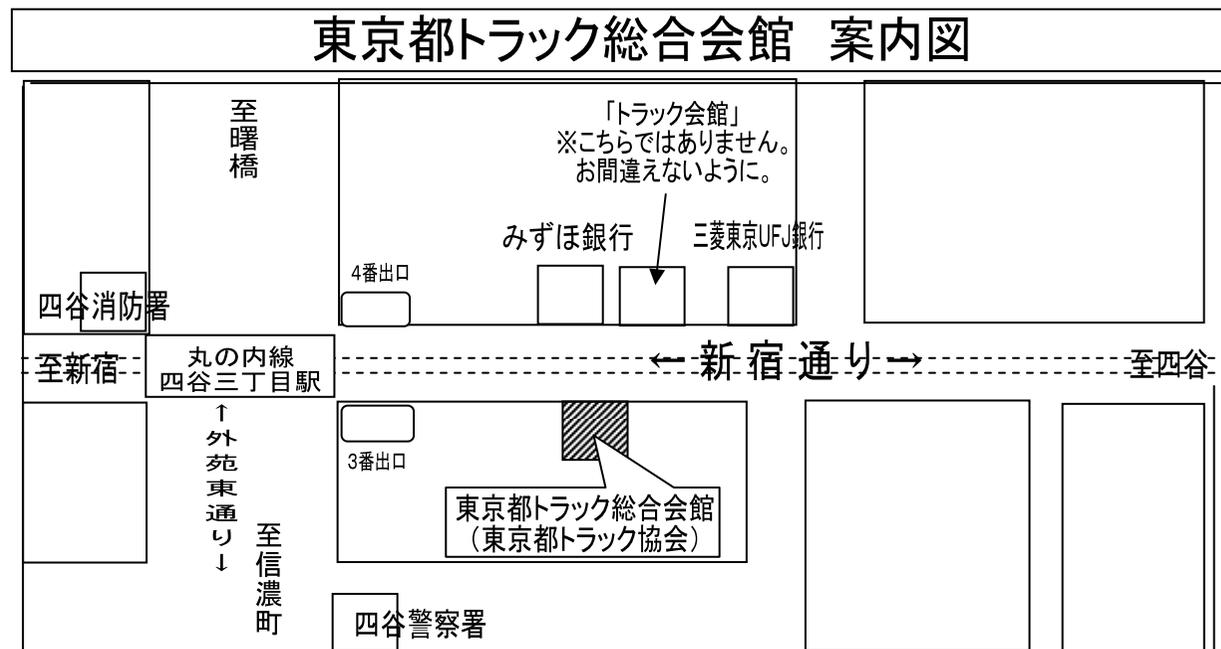
- 場所 東京都トラック総合会館 7F 大会議室
新宿区四谷3-1-8（東京メトロ丸の内線・四谷三丁目駅・徒歩二分）

- 実施主体 主催 (社) 東京都トラック協会ロジスティクス研究会
後援 (財) 東京都トラック運送事業人材養成等財団
協力 (社) 東京都トラック協会青年部
(社) 東京都トラック協会女性部

- 参加 180席
無料（事前登録制で席は先着順となります。）

- 登録 お申し込みは、下記申込書に記載のうえ、7月6日（火）までに東ト協教育研修部までFAXで。

◇お問合せ先 (社)東京都トラック協会 教育研修部 TEL. 03-3359-4137
FAX 03-3359-6020



◆交通のご案内

東京メトロ丸の内線四谷三丁目駅下車、3番出口より徒歩約2分。

切り離さなくて構いません

ロジ研「バスーラ」上映会(7月13日) 参加申込書

申し込み先 FAX.03-3359-6020

お名前		電話	
会社名・団体名	.		
(丸で囲ってください)	交流会参加	交流会不参加	